

## 「教え」とは

教頭 佐々木 朗

私ごとではありますが、先日、私の母が76歳で亡くなりました。通夜の親族挨拶を長男である私することになったのですが、「どんな母だったのだろう。」と今更ながらじっくり考えました。

大学を卒業するまでずっと一緒に生活をしてきて、小さい頃からいろんなことを躰られ、また、私も素直に従ったもの、反抗したものなど、無数のコミュニケーションの中で育ってきました。

そこで思ったのですが、「いつどこで、どんなことをしつけられたか」っていうことは、まるっきり覚えていないのです。しかし、その中に、「決まりは、守る。」、「わからないことは、調べる。」、「人様に喜んでもらえるような仕事をする。」などの私の人生の価値観のようなものがしっかりと心根に刻まれているのです。

「教え」とはそういうものなのかなと思います。人が見ていなくても、お金にならなくても、自分選ぶべき生き方をしっかり支えてくれる指針なのでしょう。

小学校時代の先生の記憶は、成長するにつれて薄れているものです。そんな中でも、子どもたちが大人になった時、「あの先生から学んだ『教え』が今の自分に生きている」と言われるような教員になるべく、人間教育を進めていきたいと思います。